

## 危険予防の方法

ア 発破の設計及び方針

イ 飛石防護施設（防護柵等の図面添付）

ウ 見張人の位置及び人員（図面上に記載のこと）

エ 発破孔口に対する措置

オ 付近民家に対する予防又は警報の方法

カ 発破時刻の制限

キ 1回の発破の全装薬量

ク その他（振動，騒音対策等）

- 注 1 できるだけ具体的詳細に記載すること。  
2 用紙の大きさは，日本産業規格A4とする。